

# 交通死亡事故の抑止を重点目標に

## 平成17年度交通安全協会・交通指導員協議会定期総会



交通指導員協議会

交通道德の向上と交通事故防止のために運動を展開している町交通安全協会（渡辺龍幸会長）と町交通指導員協議会（長田一三会長）の定期総会が5月30日、役場で開催されました。

交通指導員協議会の総会には、来賓や指導員など21名が出席。17年度事業計画として、各関係機関と連携を密に次の事業を展開することが決定されました。

交通安全思想の普及啓発  
各種行事に対する交通指導  
交通安全に関する研修

この後、役員の変更が行われ、新会長に伊藤昭男氏（幾寅）、副会長に安部浩明氏（幾寅）などが就任しました。

また、引き続き開催された町交通安全協会の総会には、46名の方々が出席。17年度事業計画として、各関係機関・団体との緊密な連携のもとに、悲惨な交通事故の撲滅を目指し、次の事業を展開していくことが決定されました。

スピードダウン運動の推進  
シートベルト・チャイルドシート着用の推進  
夜光反射材の着用とデイライト運動の推進  
道民交通安全の日（毎月15日）実践の推進  
無謀運転、暴走運転の排除  
交通弱者の保護および交通安全指導



交通安全協会

効率的で効果的な交通安全運動の推進

なお、この日は町高齢者交通事故防止対策協議会（渡辺龍幸会長）も併せて開催され、交通安全教育活動、夜光反射材の普及促進活動、交通安全推進機関と協調した期別運動の実施を展開していくことが決定されました。

交通指導員として活躍されておりました長田一三さん（金山）がこの度退任され、池部町長から感謝状を贈呈しました。



長田さんは、昭和41年から交通指導員として交通安全活動に精励し、交通事故抑止のためにご尽力され、平成元年からは交通指導員協議会の会長に就任するなど39年間の永きにわたり活躍されました。

永年の御労苦に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。大変お疲れさまでした。

### 「自治のかたち」検討プロジェクト本格始動！

～各市町村の課題を明らかに～

5月16日から富良野圏域5市町村の専任職員による本格的なプロジェクトチームの作業がスタートし、各市町村の問題や課題を把握するため圏域内の公共施設などを現地調査しました。

その結果、老朽化し改築が必要な施設や類似施設のほか、先進的に行っている取組事例、距離や面積、産業構造の違いなど各市町村の現状を把握するなかから、圏域住民にとつての「理想とする自治」に向けて検討していきます。

今後は、圏域の将来構想のために各市町村の行政サービスなどを比較していくなかから広域で担うことが望ましい事務事業や、北海道からの権限委譲の受け皿の可能性についても調査を行います。